

THE ROKINREN BANK
MINI DISCLOSURE
2021



Rろうきん



Rろうきん
労働金庫連合会
ミニディスクロージャー誌

〈ろうきん〉は日本でただひとつ、はたらく人のための生活応援バンクです。

いつも〈ろうきん〉をご利用いただき、ありがとうございます。

労働金庫連合会(労金連)は、協同組織の福祉金融機関である全国の〈ろうきん〉を会員とする中央金融機関として1955年に設立され、以来66年にわたって〈ろうきん〉が行う金融活動を支えてまいりました。

この「労働金庫連合会ミニディスクロージャー誌2021」は、労金連の役割や機能および経営情報などを皆さまに知っていただけるよう作成いたしました。今後とも安心・安全に〈ろうきん〉とお取引いただくための一助となれば幸いです。

労働金庫連合会

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

〈ろうきん〉と
労金連のことが
よくわかるよ。



シンボルマーク



〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。

CONTENTS

ろうきんの理念 表紙裏面

〈ろうきん〉と労金連について

〈ろうきん〉と銀行の違いは何ですか？	02
労金連は、〈ろうきん〉とどのような関係にありますか？	04
労金連にはどのような役割がありますか？	05
〈ろうきん〉と労金連の不良債権の状況について教えてください。	06
〈ろうきん〉と労金連の自己資本比率は何%ですか？	07
〈ろうきん〉のセーフティネットについて教えてください。	08

資産形成応援

iDeCo・企業年金・つみたてNISA・財形を取組み	10
ろうきんのある生活 ～ろうきんで暮らしに彩りを～	11
”いつでも・どこでも”ろうきんアプリ！	11

ろうきんSDGs行動指針に基づく取組み

ろうきんSDGs行動指針に基づく〈ろうきん〉の取組み	12
ろうきんSDGs行動指針に基づく労金連の取組み	13
ろうきん森の学校・働きやすい職場を目指して	14

第10期中期経営計画・2021年度事業計画

	15
--	----

2020年度決算の概況

2020年度決算の概況	17
主要指標の推移	17
利益率の推移	18
資産の構成	19
負債および純資産の構成	20
有価証券の時価情報	21

組織と体制

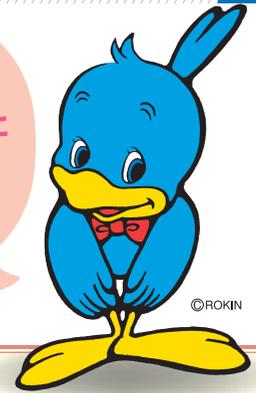
労金連の組織	22
総合事務センター	22
労金連の子会社	22
リスクに対する考え方	23
コンプライアンスに対する考え方	23
全国〈ろうきん〉のお問い合わせ先一覧	24



〈ろうきん〉と銀行の
違いは何ですか？



〈ろうきん〉は、
はたらく人がお互いを助け合うこと
を目的に資金を出し合って設立した
協同組織の金融機関です。



〈ろうきん〉はここが違います！

〈ろうきん〉の基本姿勢

目的

〈ろうきん〉は、
はたらく仲間がつくった福祉金融機関です。

運営

〈ろうきん〉は、
営利を目的としない金融機関です。

運用

〈ろうきん〉は、
生活者本位に考える金融機関です。

〈ろうきん〉の事業運営3原則

〈ろうきん〉の目的や原則は労働金庫法によって規定されており、市中銀行との違いが明確に区分されています。〈ろうきん〉は労働金庫法第5条に定められている「非営利の原則」「会員に対する直接奉仕の原則」「政治的中立の原則」に基づき、中期経営計画および年度事業計画等を策定し事業運営を行っています。

労働金庫法(抜粋)

(目的)

第1条 この法律は、労働組合、消費生活協同組合その他労働者の団体が協同して組織する労働金庫の制度を確立して、これらの団体の行う福利共済活動のために金融の円滑を図り、もつてその健全な発達を促進するとともに労働者の経済的地位の向上に資することを目的とする。

(原則)

第5条 金庫は、営利を目的としてその事業を行ってはならない。

2 金庫は、その行う事業によつてその会員に直接の奉仕をすることを目的とし、特定の会員の利益のみを目的としてその事業を行ってはならない。

3 金庫は、その事業の運営については、政治的に中立でなければならない。

〈ろうきん〉の社会的役割

〈ろうきん〉は、組合活動の支援、金融商品の提供に加え、「はたらく人の福祉金融機関」として、はたらく人の暮らしを支え、守ることも大切な役割と考えます。

生活応援運動

〈ろうきん〉は、お金に関する悩みを解決するため、生活設計・生活防衛・生活改善の3つの取組みで、生涯にわたってはたらく人の生活をサポートしています。

福祉金融機能の発揮

〈ろうきん〉は、はたらく人をサポートするため、国・地方自治体と連携し、低金利な福祉ローンなどを提供しています。

労働組合の支援

〈ろうきん〉は、組合員のライフプランを支援する様々な商品やサービスを提供し、労働組合の自主福祉活動をバックアップしています。

低金利な融資商品の提供

〈ろうきん〉は、営利を目的としない福祉金融機関としての独自性を発揮し、カード・自動車・住宅・教育などの分野で低金利な融資商品を提供しています。

利用者の拡大

〈ろうきん〉では、労働組合のない職場ではたらく方々、パート・有期契約・派遣労働者、退職された方々にも利用できるよう取り組んでいます。

福祉事業の助成

〈ろうきん〉は、生活協同組合やNPOなどへ事業資金を供給し、福祉事業団体に対する金融センターの役割を發揮しています。

多重債務の予防

〈ろうきん〉は、多重債務者にならないようにカードローンやクレジットカードの注意点を伝え、全国で相談や借換などに対応しています。

財形制度の改善

〈ろうきん〉は、財形貯蓄制度を改善するために、労働者福祉団体と連携して国に対する要望書を提出するなど、よりよい財形制度づくりに努めています。

退職金・企業年金の見直し支援

〈ろうきん〉は、退職金・企業年金を守る取組みをサポートするとともに、退職後の大切な生活費となる資産の運用をお手伝いしています。



労金連は、
〈ろうきん〉と
どのような関係に
ありますか？



©ROKIN



労金連には
どのような役割が
ありますか？



©ROKIN



©ROKIN

! A

労金連は、全国13〈ろうきん〉を会員とする
中央金融機関です。
〈ろうきん〉の余裕資金のうち、65%を預金で受け
入れ、その資金を有価証券や貸出金などで運用し
ています。
(2021年3月31日現在)

組織

間接構成員 (11,670,456人)

114,940会員

労働組合などの
団体会員

個人会員

全国〈ろうきん〉
608店舗、出資金972億円

労金連
出資金1,200億円

労金連は、「(株)格付投資情報センター(R&I)」の発行体格付け「AA-」を取得しています。
(2021年6月30日現在)

知識



©ROKIN

間接構成員とは

〈ろうきん〉の団体会員に属する一人ひとりのお客さまのことです。
たとえば、〈ろうきん〉の団体会員が労働組合である場合、その組合の組合員
を「間接構成員」と呼んでいます。



©ROKIN

! A

労金連は、〈ろうきん〉の金融活動を支え、
〈ろうきん〉業態を発展させるため、次の
5つの役割を担っています。

労金連の役割

- 1 〈ろうきん〉間の資金需給調整
- 2 〈ろうきん〉の金融業務の補完
- 3 〈ろうきん〉業態の信用力の向上
- 4 総合事務センターの運営と事務集中による〈ろうきん〉の業務の効率化
- 5 〈ろうきん〉の余裕資金の集中による効率運用

〈ろうきん〉から労金連への資金の流れ



(2021年3月31日現在)

知識



©ROKIN

余裕資金とは

〈ろうきん〉は、お客さまからお預かりした資金を、主に住宅ローンなどの貸出
資金として役立てています。残りの資金は、労金連への預金や有価証券などで
運用していますが、貸出以外のこれらの運用資金を「余裕資金」と呼んでいます。



〈ろうきん〉と
労金連の不良債権の
状況について
教えてください。



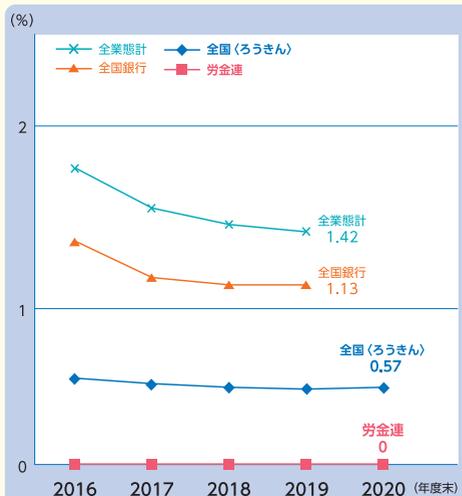
〈ろうきん〉と労金連の
自己資本比率は
何%ですか？



全国〈ろうきん〉の貸出金に占める
不良債権（リスク管理債権）の比率は**0.57%**と、
他業態に比べ大変低い数値となっています。
なお、2020年度末において、**労金連には不良債権
（リスク管理債権）はありません。**

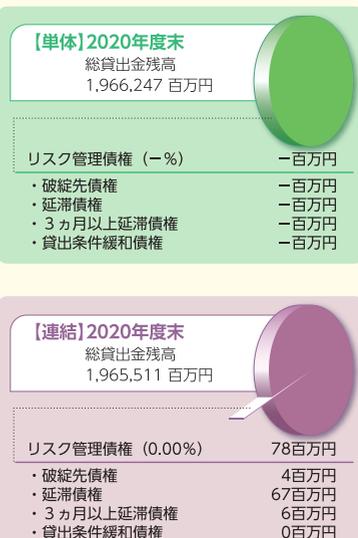


リスク管理債権比率の推移



(注) 1. 当表は金融庁公表数字をグラフにしたものです。
2. 全国〈ろうきん〉は労金協会調べ。

労金連のリスク管理債権の状況



不良債権とは

ディスクロージャー誌への開示が義務づけられている金融機関の不良債権には、「リスク管理債権」(労働金庫法において準用する銀行法に基づく開示債権)と「金融再生法開示債権」の2種類があります。このページでは、リスク管理債権の数字を用いています。

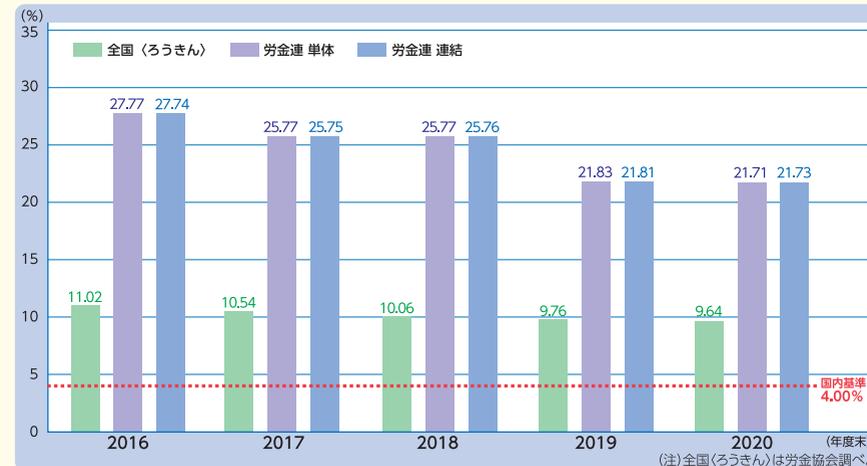


〈ろうきん〉は**9.64%** (全国平均)、
労金連は**21.71%**と、国内基準の4%を
大きく上回っています。



「自己資本比率」は、金融機関の経営の健全性を判断するための基準として法令により定められた指標です。〈ろうきん〉や労金連など、国内業務のみを行う金融機関では4%以上が求められています。

自己資本比率の推移



〔労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号)〕に基づき算定しています。
なお、労金連および全国〈ろうきん〉は国内基準を採用しています。



自己資本比率とは

自己資本比率は、金融機関経営の健全性をみる指標です。保有する資産が自己資本でどの程度保全されているかを次の式で計算します。
自己資本額 ÷ (信用リスク・アセット + オペレーショナル・リスク相当額 × 12.5) × 100
* 12.5は国際統一基準の自己資本比率8%の逆数



〈ろうきん〉の
セーフティネットについて
教えてください。

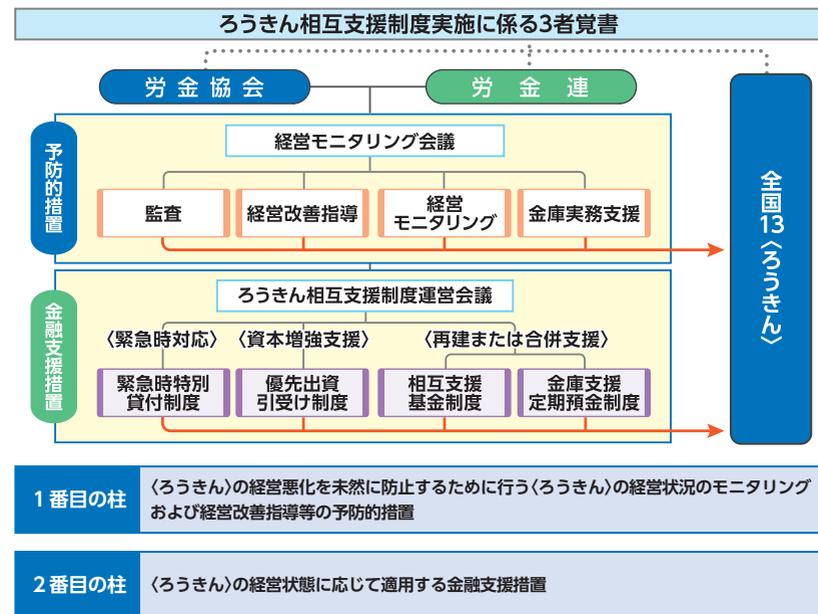


〈ろうきん〉のセーフティネット「ろうきん相互支援制度」は、〈ろうきん〉の経営悪化を未然に防止し、その経営力強化を図るとともに、資本増強等を必要とする〈ろうきん〉に対して労金連が支援を行う制度です。全国13 〈ろうきん〉、(一社)全国労働金庫協会(労金協会)および労金連の3者が参加しています。

お客さまの預金を守るしくみに、預金保険制度(公的セーフティネット)があります。
この預金保険制度とは別に、〈ろうきん〉は、業態独自のセーフティネットの制度を運営し、預金保険制度の利用に至ることのないよう、お客さまの大切な預金を守っています。

これからも、安心・安全が〈ろうきん〉の経営の基本です。

ろうきん相互支援制度のしくみ



ろうきん相互支援制度の金融支援措置

<p>緊急時特別貸付制度</p> <p>風評などにより、一時的に預金の払戻しが急増した場合やそのおそれがある場合、〈ろうきん〉は労金連に対し、緊急時特別貸付制度適用の申込みができます。</p> <p>あらかじめ設定された限度額内で借入れ申込みができるため、機動的な利用が可能となっています。</p>	<p>優先出資引受け制度</p> <p>自己資本の充実の必要が生じた場合、〈ろうきん〉は労金連に対し、優先出資引受け制度適用の申込みができます。</p> <p>自己資本の増強は、普通出資による増資や事業活動の成果である当期純利益の蓄積により行うことが基本ですが、これらの手段を補完するための資本調達手段として制度化されたのがこの制度です。</p>
<p>相互支援基金制度</p> <p>万が一、経営に重大な支障をきたした場合、〈ろうきん〉は労金連に対し、相互支援基金制度適用の申込みができます。</p> <p>相互支援基金制度は、全国の〈ろうきん〉と労金連が協力して積み立てた相互支援基金を財源とし、この基金から経営危機に陥った〈ろうきん〉に対し、資金援助を行う制度です。この基金から資金援助を受けた〈ろうきん〉は、事業の継続を図りながら健全化に努めます。</p>	<p>金庫支援定期預金制度</p> <p>金庫支援定期預金制度は、相互支援基金制度の補完的な位置づけとして制度化されました。〈ろうきん〉は労金連に対し、金庫支援定期預金制度適用の申込みができ、適切なタイミングでの早期支援が可能となっています。この制度の支援を受けた〈ろうきん〉は、事業の継続を図りながら早期健全化に努めます。</p>

〈ろうきん〉とiDeCo(個人型確定拠出年金)

iDeCo(個人型確定拠出年金)は、2017年1月の法改正で制度利用対象者の範囲が大幅に拡大された私的年金制度です。全国の〈ろうきん〉の「ろうきんiDeCo(個人型年金プラン)」加入者数は、2017年1月から取扱い開始以降、21万件を超えました(2021年5月末)。労金連では、特設Webサイト「ろうきんのiDeCoスペシャルサイト」や専用コールセンターの運営などを通じて、お客さまに対する丁寧な対応と、わかりやすい制度紹介に努めており、〈ろうきん〉の推進活動・事務を支援しています。

「ろうきんiDeCo」はシンプルでわかりやすい商品ラインアップとし、お客さまとの丁寧な対応を心がけた結果、数ある金融機関のなかでもトップクラスの加入者数となっています。2021年4月には、新たに6商品をラインアップに加え、より資産形成を行いやすいプランとなっています。

また、〈ろうきん〉を代表して確定拠出年金普及・推進協議会に参加し、iDeCoの制度普及に取り組んでいます。〈ろうきん〉は、「ろうきんiDeCo」を活用した年金資産の形成をお客さまにご提案してまいります。



<https://rokin-ideco.com/>



〈ろうきん〉と企業年金

勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言の取組み

〈ろうきん〉は、勤労者の資産形成について、長きにわたり会員との協働により財形貯蓄やエース預金の推進を基盤として運動を展開し、2000年代以降は、退職金・企業年金制度を取り巻く環境の変化に対応するべく、「企業年金に係る役割発揮宣言」を掲げ取り組んでまいりました。

〈ろうきん〉は、人生100年時代の到来や、昨今の政府の政策面からの急速な投資環境整備などを受け、勤労者に対してよりふさわしい資産形成の取組内容を発信する必要があることから、これまでの取組みを発展させた「〈ろうきん〉の勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言」を掲げ取り組んでいます。

ろうきんDC定期預金は、競争力のある金利・高い信用力によって、多くの企業(2021年3月末現在:1,111規約・11,700社)から選定を受けており、DC制度加入者(組合員)を資産形成の面からもサポートしています。

ろうきんDC定期預金残高は、2021年3月末現在9,226億円(期間5年:9,196億円/期間1年:30億円)となり、1兆円も視野に入る規模に拡大しています。なお、期間5年定期預金はDC運用の単一商品では残高No.1です。

労金連Webサイトの「ろうきんの勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言～企業年金に係る取組み～」では、企業年金の概要や資産運用の考え方、企業型DCの選択制DCやマッチング拠出のシミュレーションなど勤労者に役立つ情報を提供しています。



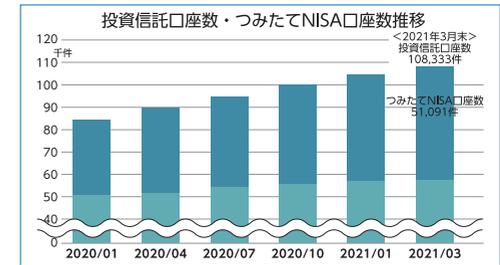
<https://www.rokinren.com/kigyonenkin-support/>



〈ろうきん〉でつみたてNISA

つみたてNISAで資産形成!!

〈ろうきん〉では、お客さまが将来に向けて安定的な資産形成を進めていくために、お客さまの様々なライフプランに応じた「つみたてNISA」の活用をご提案しています。これから投資を始めるお客さまや、資産を形成していくお客さまのニーズにお応えする中で、投資信託口座数108,333件のうち、つみたてNISAの口座数は51,091件となっています(2021年3月末)。



〈ろうきん〉と財形

ろうきん財形は選ばれてNo.1

勤労者財産形成促進制度(財形制度)は、勤労者の計画的な貯蓄、持家取得を促進するという目的でつくられた制度です。給与天引きで計画的に毎月少しずつ貯蓄することができ、財形住宅と財形年金をあわせた元利合計が550万円に達するまで利息が非課税になるなど、メリットの大きい貯蓄方法です。

〈ろうきん〉は、計画貯蓄推奨や多重債務対策などの「生活応援運動」を全国的に展開しており、多くの勤労者の皆さまにその中核的な商品である「ろうきん財形」をご活用いただいています。

2021年3月末現在で契約件数は2,583,502件・貯蓄残高は3兆8,302億円を超え、件数・残高ともに業態別第1位となっています。

ろうきん財形契約件数・貯蓄残高(2021年3月末) (単位:件,百万円)

	財形貯蓄(一般)	財形年金貯蓄	財形住宅貯蓄	合計
契約件数	1,738,929	642,108	202,465	2,583,502
貯蓄残高	2,687,134	855,049	288,023	3,830,207

ろうきんのある生活 ～ろうきんで暮らしに彩りを～

お客さまの生活の中でご利用いただける〈ろうきん〉のサービスを紹介する特設ページ「ろうきんのある生活」を公開しました。

資産形成に役立つコラムを掲載しているWebコンテンツ「ろうきんとつくる あなたのLife Plan」と併せて、今後もお客さまにお役立ていただけるよう、内容を充実させてまいります。



<https://www.rokinren.com/unyolo/p>

“いつでも・どこでも”ろうきんアプリ!



「ろうきんアプリ」はスマートフォンで“いつでも・どこでも”、かんたんに残高や入金金を確認できる便利なアプリです。

他にも、入金金明細に使用用途などをメモできる機能や、スマートフォンのカメラ機能で税金などのお支払い、〈ろうきん〉からのおトクな情報のお届けなど、便利な機能が充実しています。

2021年3月には、郵送でお届けしていた各種ご案内の内容を確認できる機能、住所変更機能、お近くのろうきんの店舗でのご相談を予約できる機能が追加されました。

今後も、お客さまのニーズに合わせて「ろうきんアプリ」から各種サービスを提供してまいります。

ろうきんお役立ちコラムVol.1 もっと便利に!「ろうきんアプリ」サービス開始 <https://www.rokinren.com/unyousefulcolumn/01/>

ろうきんSDGs行動指針に基づく(ろうきん)の取組み

ろうきんSDGs行動指針

(ろうきん)は、2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況を目指す「金融包摂」の考え方は、「ろうきんの理念」や「ろうきんビジョン」に合致しています。

労金運動を通じた勤労者の生活向上という、(ろうきん)の使命を徹底追求することを通じて、(ろうきん)に期待される協同組織金融機関としての役割発揮とSDGs達成に取り組みます。

「ろうきんSDGs行動指針」はこちら→ https://all.rokin.or.jp/file/20190301_rokinsdgs.pdf



SDGs レポートの発行

労金協会は、「ろうきんSDGs行動指針」に基づき、SDGs推進に係る全国の(ろうきん)および労金連による各種取組みや成果等を発信し、会員をはじめとした様々なステークホルダーに「共感の輪」を広げていくための報告書として、「ろうきんSDGs Report 2021」を作成しました。



自然災害や感染症から勤労者の生活を守る取組み

自然災害に係る取組み

(ろうきん)は、頻発する自然災害により被災された方々に(ろうきん)ならではの支援を実施していく観点から、災害復旧等に要する生活資金等や被災住宅の修理・改修等の復旧工事費等にご利用いただける災害救援ローン(無担保・有担保)を取り扱っているほか、会員団体等が行う自然災害の義援金振込口座への送金に係る為替手数料の免除措置を設けております。

新型コロナウイルス感染症への対応

(ろうきん)は、新型コロナウイルス感染症拡大により、収入減少・離職等の影響を受けた皆さまの各種相談を行っております。また、収入減少または離職し、生活資金等が必要な会員組合員への生活支援の観点から「勤労者生活支援特別融資制度(新規融資・無担保)」を取り扱っております。

ろうきんSDGs行動指針に基づく労金連の取組み

持続可能な社会の実現に向けた経営の推進

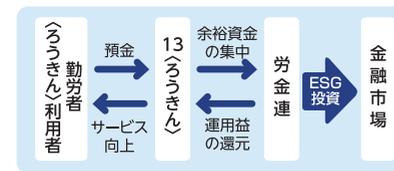
労金連は、「ろうきんの理念」にある“人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与すること”を実現するため、経営方針に「社会的責任(CSR)を重視した誠実な経営」を掲げています。この経営方針を実践し、SDGsを達成していくため、持続可能な社会の実現に向け、勤労者を取り巻く社会的課題の解決に繋がる資金循環をつくりだしていく責任があると考え、ESG投資に取り組んでいます。

ESG投資の実践

(ろうきん)は、会員や間接構成員の皆さまから預金としてお預かりした資金を、全国のはたらく仲間の生活支援として「住宅ローン」「教育ローン」「自動車ローン」といった貸出金として役立てています。労金連は、貸出金以外の運用可能な余裕資金を集中し、効率的に運用する中で、投資先企業のESG(E:環境、S:社会、G:企業統治)課題への取組みに配慮したESG投資を実践しています。

ESG投資の実績

ファンド・債券・株式	投資残高	
	2019年度末	2020年度末
ESGファンドへの投資	350億円	420億円
環境債・社会貢献債等への債券投資	235億円	419億円
うち、サステナビリティ債	(81億円)	(116億円)
うち、環境債(グリーンボンド)	(84億円)	(170億円)
うち、社会貢献債(ソーシャルボンド)	(69億円)	(132億円)
ESG課題を重視した株式投資	91億円	104億円
合計	677億円	945億円



責任投資原則(PRI)への署名

労金連は、2017年9月に(ろうきん)業態を代表し、国内預金取扱金融機関(信託銀行を除く)で初めて、国連が提唱する責任投資原則(PRI:Principles for Responsible Investment)に署名しています。

PRIとは、投資行動にあたって、投資先企業のESG課題への取組みに配慮することを宣言したものです。2021年5月30日現在、世界で4,000を超える機関投資家や運用会社等が賛同署名しています。

労金連は、PRIによる2020年の年次評価において、ESG投資に関する方針や体制を評価する「戦略とガバナンス」部門にてA評価、「債券(ソブリン債等)」部門では最高ランクのA+評価を獲得しました。



持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則

労金連は、地球の未来を憂い、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針として策定された「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に署名しています。

この署名は、21世紀金融行動原則の趣旨が、「ろうきんの理念」および労金連の経営方針に掲げる「社会的責任(CSR)を重視した経営」に通底するものであること、ガイドラインの取組事例と本会の実践内容が一致していることなどから2012年2月に行ったものです。

労金連は、持続可能な社会の形成に向けた金融機関の責任と役割を認識し、この21世紀金融行動原則の趣旨に基づく取組みを推進していきます。



ろうきん森の学校

労金連は創立60周年記念社会貢献活動として、2015年度からの10年間を「第II期」と位置付けて、全国5地区で環境教育事業「ろうきん森の学校」に継続して取り組んでいます。

「ろうきん森の学校」の活動は、「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する連携事業に認定されたほか、第5回いきものにぎわい企業活動コンテストにおいて「公益社団法人国土緑化推進機構理事長賞」を受賞するなど、各方面から、長期にわたる活動に対する評価をいただいています。



2020年度活動紹介

各地区の森の学校は、①森を育む(植樹、間伐・下刈り等の森林整備活動)、②人を育む(森づくりや環境教育リーダーの育成)、③森で遊ぶ(里山を活用した自然体験プログラムの開発と実施)を3つの柱として活動を展開しています。

オンラインプログラムの企画開発

コロナ下で外出自粛を余儀なくされている子どもたちを対象としたオンライン自然体験プログラムを試行しました。現地での体験に近づくよう、参加者とスタッフが双方向でコミュニケーションがとれる工夫をしながら実施しました。

環境教育リーダーの育成

多様な森を育み、人々に安全で楽しいプログラムを提供するため、またコロナ下での新しいプログラム開発等に対応するため、スタッフ研修を実施し、スキルアップに努めました。



自然体験プログラムの開発

従来の「食」・「宿泊」・「交流」を軸としたプログラムが実施できなくなり、「3密」を回避するため、家族向けキャンプや少人数に対応した高付加価値プログラム等、地域資源を活用したプログラムの開発に取り組みました。



「ろうきん森の学校」 お問い合わせ先

全国事務局・富士山地区 NPO法人ホールアース研究所	〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 (全国事務局) http://www.mori-gakko.net/ TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 (ホールアース研究所) https://www.wens.gr.jp/
福島地区 NPO法人いわきの森に親しむ会	〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町湯ノ岳2湯ノ岳山荘内 TEL・FAX:0246-44-3273 https://iwaki-mori.jimdo.com/
新潟地区 NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	〒949-1734 新潟県上越市大字増沢962-1 TEL:025-541-2602 FAX:025-512-1379 https://kamiechigo.jp/
岐阜地区 NPO法人グリーンウッドワーク協会	〒501-3701 岐阜県美濃市2973番地1 TEL:090-4793-9508 https://www.greenwoodwork.jp/
広島地区 NPO法人ひろしま自然学校	〒731-1221 広島県山県郡北広島町今吉田1197 TEL:080-4069-0786 https://hs-gakko.wixsite.com/2005

働きやすい職場を目指して

くるみん・トモニの取得

仕事と子育ての両立を図るための制度・環境の整備、職員がワークライフ・バランスを保って働くことができる環境の整備に努めており、次世代認定マーク(愛称:くるみん)を取得しています。

また、仕事と介護の両立に関する取組みを公表し、厚生労働省のシンボルマーク(愛称:トモニ)を使用できるようになりました。

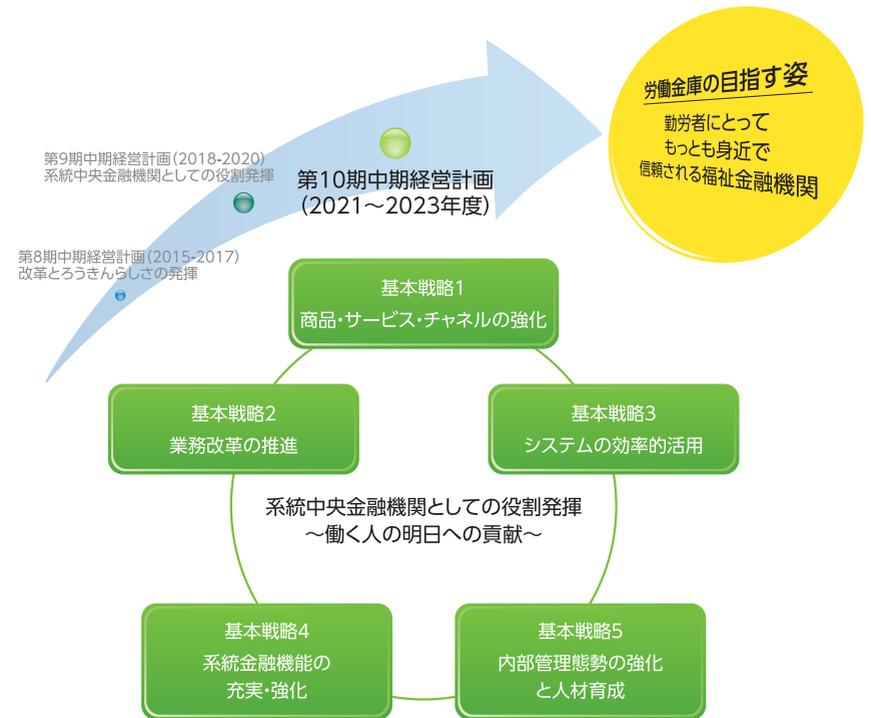


総労働時間削減に向けた取組み

職員のワークライフ・バランスの実現に向けて、ノー残業デー(部やセクション単位:年間48回、職場一斉:年2回)、年休取得強化月間(年3回)、連続休暇の取得の促進などの取組みを事業体と労働組合が共同して行っています。

第10期中期経営計画

労金連は、2021年6月の通常総会において、「労働金庫連合会第10期中期経営計画」(以下、「第10期中期経営計画」といいます。)を策定しました。これは、2021年度から2023年度までの3年間における労金連の経営の方向性、課題などを表したものです。



第10期中期経営計画においては、業態共通課題である「会員との協働・地域共生の促進」「環境変化に応じた事業の変革」「運動発展・事業継続に必要な強固な経営基盤の確立」や「業態IT戦略の方針(第III期)」および「ろうきんSDGs行動指針」を踏まえ、(ろうきん)の働く人のための福祉金融機関としての役割発揮を支援し、業態の持続可能な経営基盤に寄与するとともに、SDGs達成に貢献していくため、本会は、第9期中期経営計画の取組みをさらに発展・深化させた、「系統中央金融機関としての役割発揮 ～働く人の明日への貢献～」を全体戦略として、5つの基本戦略を策定しました。

金庫が顧客に提供する商品・サービスの利便性向上および会員・顧客基盤の拡大、また、業態の業務改革を推進し事務省力化・営業力の強化につなげるための戦略として、次の3つを策定しました。

- 基本戦略1 商品・サービス・チャネルの強化
- 基本戦略2 業務改革の推進
- 基本戦略3 システムの効率的活用

また、上記の基本戦略を下支えし、業態および本会の持続的安定的な経営の実現に向けて、次の2つを策定しました。

- 基本戦略4 系統金融機能の充実・強化
- 基本戦略5 内部管理態勢の強化と人材育成

なお、第10期中期経営計画における財務的目標として、本会および業態の財務の健全性および安定性の客観的評価である、R&Iの発行体格付「AA-」の維持を掲げています。

I. 計画の名称 労働金庫連合会第10期中期経営計画
「系統中央金融機関としての役割発揮 ～働く人の明日への貢献～」

II. 計画の期間 2021年度～2023年度(3か年)

III. 策定の趣旨

- ◆ 本会は、「ろうきんビジョン」(2015年度～2024年度までの10か年目標)の実現に向けて、当初3か年を第8期中期経営計画(2015年度～2017年度)～「改革とろうきんらしさの発揮」～として取り組み、次の3か年の第9期中期経営計画(2018年度～2020年度)では、「系統中央金融機関としての役割発揮」を全体戦略として、4つの基本戦略～①商品・サービス・チャネル戦略の強化、②ITの戦略的活用、③「ろうきんビジョン」を実現する組織・人材の強化、④厳しい環境下での持続可能な経営基盤の構築～の下、事業展開を行ってまいりました。
 - ◆ 2021年度からの3か年は、「ろうきんビジョン」の実現に向けた実質的な集大成となると同時に、次の時代に向けた土台となる重要な期間となります。この間の金融経済・社会環境の著しいかつ非連続的な変化を踏まえると、働く人のための福祉金融機関としての役割は益々高まっており、働く人にもっとも身近で信頼される金融機関に向けて、業態総合力を結集し、系統中央金融機関としての役割を最大限発揮していく必要があります。こうした認識の下、第10期中期経営計画を策定しました。
 - ◆ 今後の経済社会環境は、ウィズコロナ・アフターコロナ時代として、非対面・デジタル社会の急速な進展、GDPの戦後最大の落ち込みによるマイナス金利環境の一層の長期化等が見込まれるうえ、超高齢社会や人生100年時代、格差拡大の進行等が考えられるため、業態を取り巻く経営環境は非常に厳しくかつ変化が速いことが想定されます。
- 第10期中期経営計画では、こうした環境変化に柔軟に対応し、厳しい経営環境を乗り越え、将来の業態の発展につなげていくため、労金協会・金庫と連携を密にし、従前以上に変革意識とチャレンジ精神を持って事業を展開します。働く人に一層寄り添い、働く人の生活と将来へ貢献するとともに業態の持続可能な経営基盤の確立に向けて、金庫の金融業務の補完・支援、総合事務センターの安定・効率運営、系統金融機能の強化等、系統中央金融機関としての役割を最大限発揮していきます。

2021年度事業計画

2021年度事業計画は、第10期中期経営計画の初年度として、次期オール・ワンシステム更改の完遂をはじめ、5つの基本戦略における各課題について、スピード感を持って取り組みます。

基本戦略1

商品・サービス・チャネルの強化

- 1-1 働く人の多様化するニーズに適した商品・サービスの提供と会員・顧客基盤の拡大
- 1-2 金融デジタル化に対応したチャネル展開
- 1-3 人生100年時代に対応した勤労者の生涯生活設計支援

基本戦略2

業務改革の推進

- 2-1 業態の事務コスト削減および生産性向上
- 2-2 事務集中部門の業務効率化の推進と対象業務の拡大
- 2-3 本会業務の抜本的効率化

基本戦略3

システムの効率的活用

- 3-1 勘定系システムリプレースの完遂
- 3-2 システムの安定運用・活用とコスト削減の取組み
- 3-3 オール・ワンシステムリプレース後のIT戦略
- 3-4 セキュリティ対策の強化

基本戦略4

系統金融機能の充実・強化

- 4-1 安定的な収益確保と成果還元の実現
- 4-2 業態セーフティネットの強化
- 4-3 収益力の向上とリスク管理態勢および財務基盤の強化
- 4-4 「ろうきんSDGs行動指針」に基づく取組みの推進

基本戦略5

内部管理態勢の強化と人材育成

- 5-1 業態総合力の発揮
- 5-2 「ろうきんビジョン」実現に向けた人材育成
- 5-3 危機管理態勢の強化と組織体制の整備

2020年度決算の概況

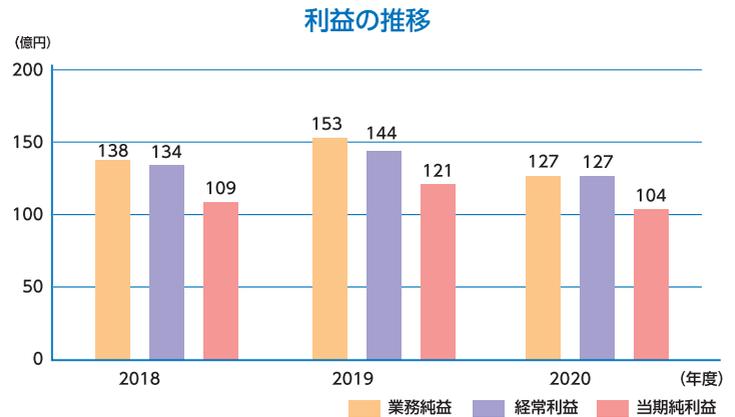
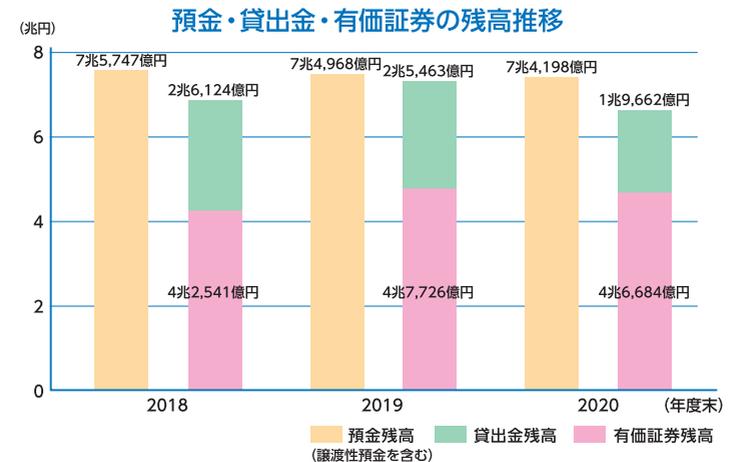
経常利益は127億円(前期比17億円減)、税引前当期純利益は127億円(前期比17億円減)、当期純利益は104億円(前期比16億円減)となりました。

総資産は、10兆7,983億円(前期末比689億円増)となりました。

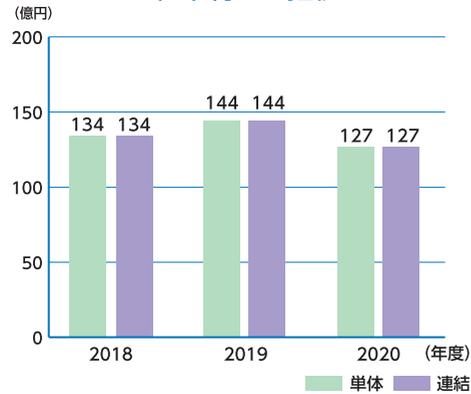
預金(譲渡性預金を含む)は7兆4,198億円(前期末比770億円減)、貸出金は1兆9,662億円(前期末比5,800億円減)、有価証券は4兆6,684億円(前期末比1,042億円減)となりました。



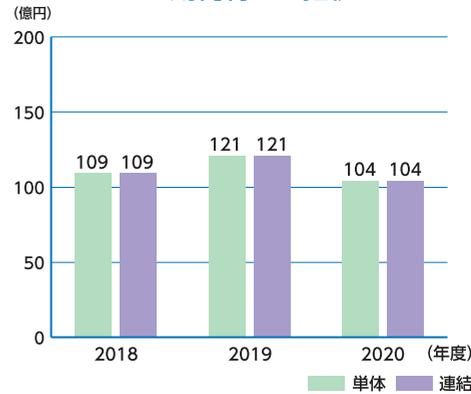
主要指標の推移



経常利益の推移

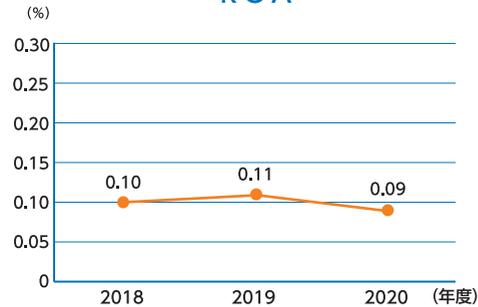


当期純利益の推移



利益率の推移

ROA



ROE

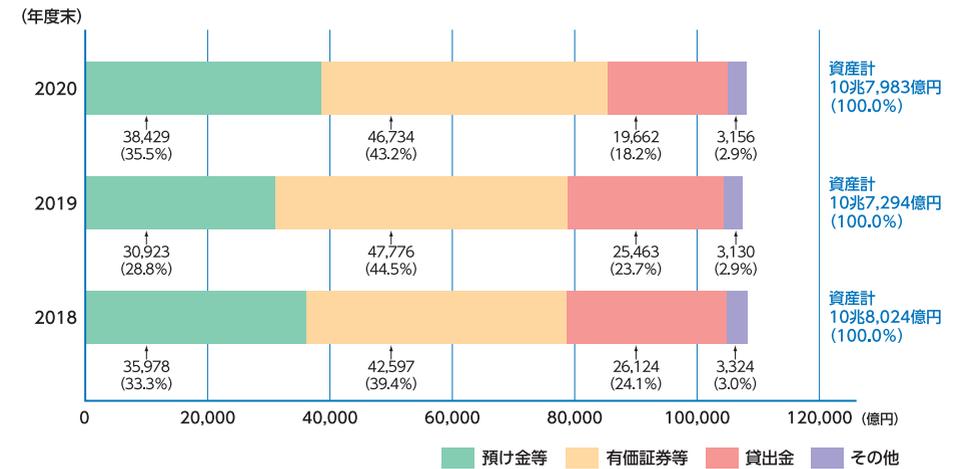


用語説明

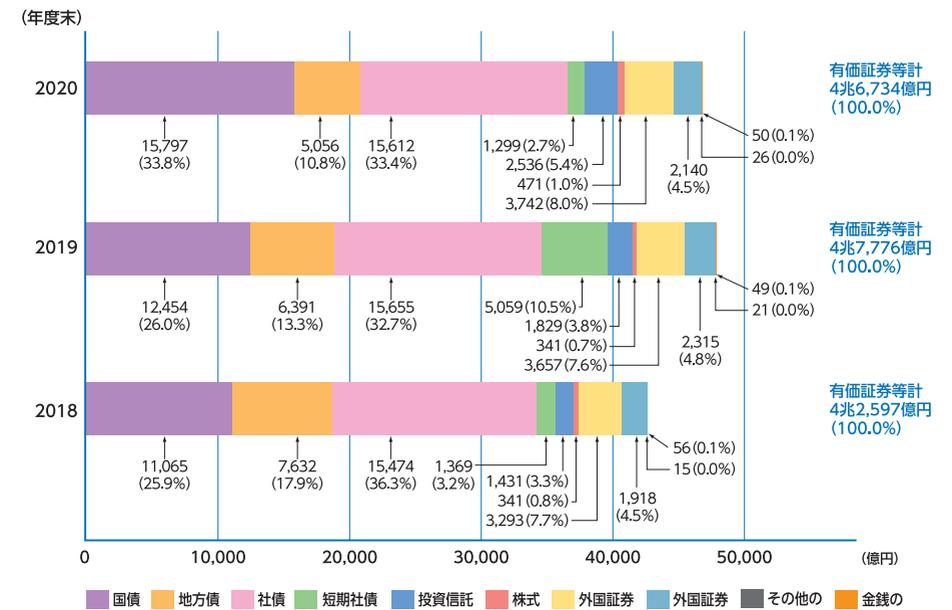
- 「業務純益」とは、金融機関の基本的な業務の成果を示す利益指標です。
- 「経常利益」とは、金融機関の通常業務による利益のことで、「経常収益」から「経常費用」を差し引いたものです。
- 「当期純利益」とは、「経常利益」に「特別利益」、「特別損失」を加減し、税金を控除した後の最終的な利益のことで、
- 「ROA」とは、総合的な収益性を表す指標で、「総資産を使って、どれだけ利益を上げたのか」をみるためのものです。ここでは、「総資産当期純利益率」を用いています。
- 「ROE」も収益性を表す指標ですが、こちらは、会員の立場から、「純資産がどれだけ利益を生み出したか」をみるためのものです。ここでは、「純資産当期純利益率」を用いています。

資産の構成

資産の構成

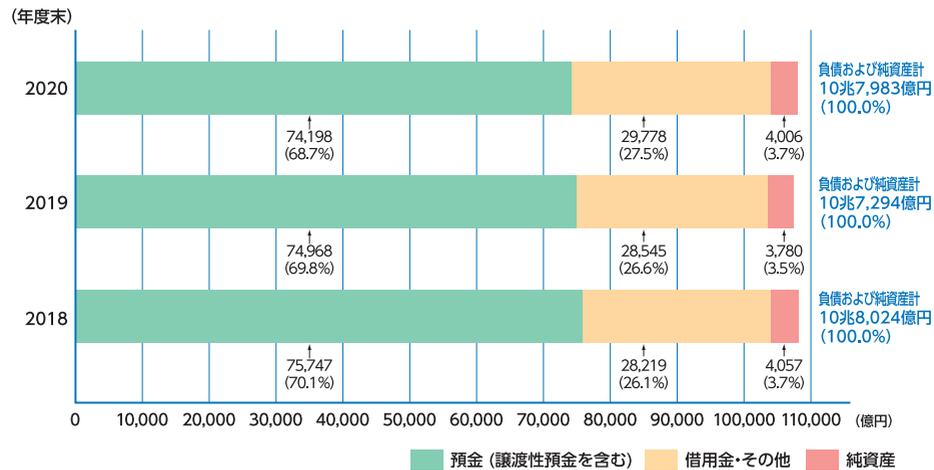


有価証券等の内訳



負債および純資産の構成

負債および純資産の構成



純資産の内訳

(単位:億円)

項目	2018年度末	2019年度末	2020年度末
出資金	1,200	1,200	1,200
利益準備金	400	421	445
特別積立金	1,121	1,121	1,120
当期末処分剰余金	202	237	246
その他有価証券評価差額金等	1,133	800	994
純資産計	4,057	3,780	4,006

※「その他有価証券評価差額金」とは、「その他有価証券」を時価評価することにより生じる評価差額に税効果を勘案した額です。

有価証券の時価情報

満期保有目的の債券

(単位:億円)

項目	貸借対照表計上額	時価	差額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	
	地方債	222	224	2
	短期社債	—	—	—
	社債	1,302	1,304	1
	外国証券	—	—	—
	その他	—	—	—
小計	1,525	1,529	3	
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	
	地方債	—	—	
	短期社債	1,299	1,299	—
	社債	826	825	△1
	外国証券	—	—	—
	その他	—	—	—
小計	2,126	2,125	△1	
合計	3,652	3,654	1	

- (注) 1. 時価は、事業年度末における市場価格等に基づいています。
 2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

その他有価証券

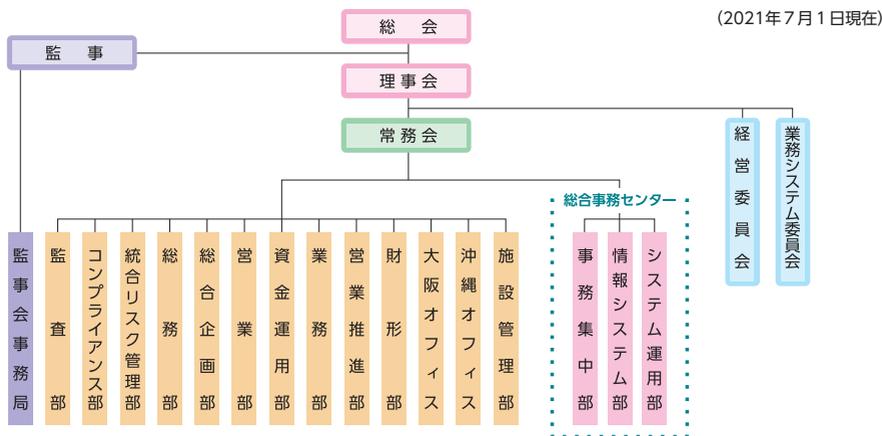
(単位:億円)

項目	貸借対照表計上額	取得原価	差額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	449	230	219
	債券	29,062	28,251	810
	国債	10,258	9,741	516
	地方債	4,573	4,524	48
	短期社債	—	—	—
	社債	10,324	10,220	104
	外国証券	3,905	3,764	140
	その他	1,828	1,355	473
	小計	31,340	29,836	1,504
	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	15	16
債券		10,934	11,050	△116
国債		5,539	5,626	△87
地方債		260	264	△3
短期社債		—	—	—
社債		3,157	3,173	△16
外国証券		1,977	1,986	△8
その他		1,158	1,171	△13
小計	12,108	12,239	△130	
合計	43,449	42,076	1,373	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、事業年度末における市場価格等に基づいています。
 2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。
 4. 本表には、貸借対照表の有価証券のほか、「預け金」の中の譲渡性預け金が含まれています。

労金連の組織

(2021年7月1日現在)



総合事務センター

総合事務センターは、1989年12月に、ろうきんバンキングシステムの共同センターとして設立され、全国(ろうきん)の金融業務、内国為替取引、ATM提携などに係るオンラインシステムの運用を担っています。1990年以降、各地域のシステムを順次統合し、2007年1月に全国一本化が完了しました。

さらに充実した商品・サービス提供のため、(ろうきん)業態として2008年10月に「アール・ワンシステム」の構築に着手し、2014年1月5日に移行を完了しました。引き続き安定稼働に取り組むとともに、2022年の次期アール・ワンシステム更改に向けた対応を行っています。

(ろうきん)では、パソコンやスマホなどによる「ろうきんダイレクト」のほか、スマホ向け「ろうきんアプリ」のサービス拡充、各種スマホ決済サービスへの電子マネーチャージ機能の提供を行っています。

今後も、利便性向上のためのシステム対応とともに、お客さまに安心してご利用いただくため、セキュリティ対策を一層強化してまいります。

* 主なATM提携先

- ・MICS加盟の金融機関
- ・[入金ネット]マークのある金融機関
- ・イオン銀行(主な設置先:イオン・マックスバリュ・ミニストップなど)
- ・ゆうちょ銀行
- ・セブン銀行(同:セブン-イレブン・イトーヨーカドーなど)
- ・ローソン銀行(同:ローソン)
- ・イーネット(同:ファミリーマート他)
- ・ビューカード(同:[VIEW ALTT]JR東日本の駅構内)

* 主なスマホ・アプリ提携先

- ・家計簿アプリ(マネーツリー、マネーフォワードなど)
- ・スマホ決済(LINE Pay、J-Coin Pay、PayPay)

労金連の子会社

会社名	事業区分	主要な事業の内容
株式会社 労金カードサービス	金融関連業務	クレジットカード業務 リース業務 損害保険代理業務
	従属業務	管理受託業務 商品販売業務 事務代行業務

リスクに対する考え方

労金連は、経営方針において、労働金庫の中央金融機関としての役割を発揮するために、経営基盤を強化し、経営の健全性を確保するとともに、リスク管理等の内部管理態勢を強化し、適切な業務運営を行うこととしています。

労金連が中央金融機関の役割と機能を十分に果たすためには、経営の健全性を継続的に確保することが必要となります。安定的な収益確保に向けて、(ろうきん)からの安定的な預金の受け入れに努め、適正なリスク管理およびALMのもとに、運用力の強化を図ります。また、自己資本の充実を図り、リスクに応じた十分な財務基盤の保有に努めています。

労金連は、所在する各種のリスク状況を

把握し、必要に応じて適切な対応を行うため、役員理事を委員長とする経営管理委員会、システムリスク管理委員会、ALM委員会、コンプライアンス委員会等を設置し、審議内容を常務会に報告または付議するなど、「統合的リスク管理規程」に従ったリスク管理体制を構築しています。



コンプライアンスに対する考え方

労金連は、「ろうきんの理念」に掲げる「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与すること」を「経営方針」に明記し、理念に根ざした事業活動を行うことを経営の根幹に据えています。これは、(ろうきん)の中央金融機関として(ろうきん)業態の発展に努めると同時に、社会の一員としてより良い社会の実現に対する責任を果たしていくことが労金連の目指すCSR経営であるからです。

このCSR経営の重要な柱となるのがコンプライアンスです。労金連は、社会からの揺るぎない信頼の維持、業務の健全性および適切性を確保するため、コンプライアンス

を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ「法令等遵守方針」を定めています。

また、「行動規範」では、法令等遵守に加え、情報開示、人間の尊厳の尊重、環境への配慮、情報取扱いの徹底など、労金連あるいは役員一人ひとりが守るべき事項を定め、企業倫理や事業活動に対する労金連の基本姿勢を明らかにしています。

このような理念、経営方針、法令等遵守方針ならびに行動規範に基づき、労金連は、今後も広く社会から信頼される金融機関となることを目指して透明性の高い誠実な経営を行ってまいります。

全国〈ろうきん〉のお問い合わせ先一覧



()内は事業地区

北海道労働金庫 (北海道ろうきん)

TEL 0120-5-109-26
〒060-0001 札幌市中央区北1条西5-3-10
<https://www.rokin-hokkaido.or.jp/>

東北労働金庫 (東北ろうきん)

TEL 0120-1919-62
(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
〒980-0023 仙台市青葉区北目町1-15
<https://www.tohoku-rokin.or.jp/>

中央労働金庫 (中央ろうきん)

TEL 0120-86-6956
(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨)
〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5
<https://chuo.rokin.com/>

新潟県労働金庫 (新潟ろうきん)

TEL 0120-191-880
〒951-8565 新潟市中央区寄居町332-38
<https://www.niigata-rokin.or.jp/>

長野県労働金庫 (長野ろうきん)

TEL 0120-606-150
〒380-0838 長野市東町523
<https://www.nagano-rokin.co.jp/>

静岡県労働金庫 (静岡ろうきん)

TEL 0120-609-123
〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
<https://shizuoka.rokin.or.jp/>

北陸労働金庫 (北陸ろうきん)

TEL 076-231-8000
(富山・石川・福井)
〒920-8552 金沢市芳野2-15-18
<https://hokuriku.rokin.or.jp/>

東海労働金庫 (東海ろうきん)

TEL 0120-226-616
(愛知・岐阜・三重)
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-7-12
<https://tokai.rokin.or.jp/>

近畿労働金庫 (近畿ろうきん)

TEL 0120-191-968
(滋賀・奈良・京都・大阪・和歌山・兵庫)
〒550-8538 大阪市西区江戸堀1-12-1
<https://www.rokin.or.jp/>

中国労働金庫 (中国ろうきん)

TEL 0120-86-3760
(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
〒732-0827 広島市南区稲荷町1-14
<https://www.chugoku-rokin.or.jp/>

四国労働金庫 (四国ろうきん)

TEL 0120-505-690
(徳島・香川・愛媛・高知)
〒760-0011 高松市浜ノ町72-3
<https://www.shikoku-rokin.or.jp/>

九州労働金庫 (九州ろうきん)

TEL 0120-796-210
(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
〒810-0074 福岡市中央区大手門3-3-3
<https://kyusyu-rokin.com/>

沖縄県労働金庫 (沖縄ろうきん)

TEL 0120-602-040
〒900-0029 那覇市旭町1-9
<https://www.okinawa-rokin.or.jp/>

全国労働金庫協会 (労金協会)

TEL 03-3295-6721
〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5-15
<https://all.rokin.or.jp/>

労働金庫連合会 (労金連)

TEL 03-3295-9322
〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5-15
<https://www.rokinren.com/>

インターネットでも情報がご覧いただけます。 **労金連Webサイト** <https://www.rokinren.com/>

凡例

1. 表示方法

ことわりのない限り、各表・グラフ等に表示した数値は、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。

内訳と合計がある場合、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

2. 記載例

「0」単位未満の数字がある場合

「-」該当数字がない場合

「△」マイナス値の場合

3. その他

全国〈ろうきん〉の数値は速報値です。

労働金庫連合会ミニディスクロージャー誌2021

2021年7月発行

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5-15

労働金庫連合会 総合企画部

TEL 03-3295-9332